

浜松オートレースで熱戦

第7回大成ロテック杯開催



大成ロテックは8月31日～9月2日の3日間にわたり、浜松市中区の浜松オートレース場

で開催されたレースに協賛した。同社は11年に同レース場内走路の全面改修工事に参加したことを機に、12年から「大成ロテック杯」として協賛している。

7回目となる今回は、最終コーナーで逆転をした小林悠樹選手（写真中央）が優勝し、西田義則社長（同左）から優勝カップと表彰状が手

渡された。

同社が同走路を全面改修した際、表層の排水性舗装の下にマカダム層という排水層を設置。これにより雨上がりの水はけが良くなり、路面の乾くスピードが改善。レースタイムにも好影響を与えており、選手から高い評価を得ている。